

北京大学生訪日団の来訪

事務部 山咲 和久

2019年7月24日（水）に北京大学生訪日団95名（団長、引率含む）が、大阪大学接合科学研究所を訪問しました。本訪日団は、外務省の推進する「日中植林・植樹国際連帯事業」の一環として、(公財)日中友好会館が招聘したもので、日本滞在期間1週間の中で、植樹活動や環境・防災関連施設の視察、大学訪問などを行い、日本についての多面的な理解と日中両国青少年の友好促進を目的とするものです。大学訪問として、本学国際部を通じて本研究所に受入れの依頼があり、来訪が実現した次第です。

大阪大学側は、小溝 裕一 東アジア拠点長が、北京大学側は、訪日団団長が代表挨拶を行い、その後、グローバルイニシアティブ・センターの教員により、大阪大学紹介があり、引き続き、記念品交換がありました。接合科学研究所PR動画(英

語版)の上映の後、本研究所 藤井 英俊 教授が「鋼を溶かさず溶接する」と題して特別講演を行いました。本研究所 劉 恢弘 助教による中国語同時通訳のもと、北京大学生は、最先端の接合技術の講演を熱心に聴講しました。

後半には、大阪大学の学生も加わり、北京大学の学生とともにグループワークが行われ、両大学の若者たちによる活発で真摯なディスカッションが進みました。本事業の目的である、日本の最先端の研究の理解と、日中両国の青少年の友好、親睦を図ることができたことを確信しております。

最後に、本研究所 田中 学 所長から、日本で最先端の研究を行う大阪大学、特に接合科学研究所に是非とも留学していただきたいとの挨拶があり、全員集合の記念写真撮影で受入行事を終了しました。

